

## フェアプレイインタビュー [ラグビー] 堀江翔太選手



プロフィール  
生年月日：1986年1月21日  
出身地：大阪府

2011, 2015, 2019  
ワールドカップ  
日本代表

## 感謝を胸に目標へ前進

## グラウンドではフェアプレー実践

チームの最前線で活躍、  
日本ラグビー界の中心選手

マンらしく体ががちりちりしてしま  
すが、やさしい目で答えてくれま  
した。

復帰を支えたトレーナーへの感謝

9月20日に開幕したアジアで初  
めてのラグビー・ワールドカッ  
プ（W杯）日本大会。その日本代  
表に3大会連続で選ばれたのが、  
チームの最前線で活躍する33歳の  
堀江翔太選手です。フェアプレー  
について「いろんな人に感謝しな  
がら目標に向かって進んでいくこ  
と。それが僕の生き方であり、僕  
が思うフェアプレーです」。ラガー

2人の子を持つ父親でもある堀  
江選手のポジションは、フッカー  
（HO）。プレーを再開するとき  
両チームが8人ずつで組むスクラ  
ムで一番前の列に並ぶ3人の真ん  
中がHOで、相手選手と直接ぶつ  
かり合い、前からも後ろの味方が  
らも相当の圧力を受けます。こ

のポジションは体への負担がとて  
も大きく、本人も2015年2月  
に痛めていた首を手術しました。  
コップが持てないほど握力が落ち  
ましたが、懸命のリハビリで復帰。  
同年秋のW杯イングランド大会に  
出場し、強豪の南アフリカを破る  
歴史的な大金星に貢献しました。  
その時のリハビリを支えてくれ  
たトレーナーの存在が、堀江選手  
に感謝の思いを持つ大切さをより  
強く感じさせました。「トレーナー  
のおかげでぐんぐん良くなった。  
彼に出会っていなかったら引退し  
ていただろうし、15年W杯の地に  
は立てなかった」。昨年11月にも



右足首を手術しましたが、今年春  
には回復。今はグラウンドでい  
プレーを見ることが感謝のしる  
しだと信じています。

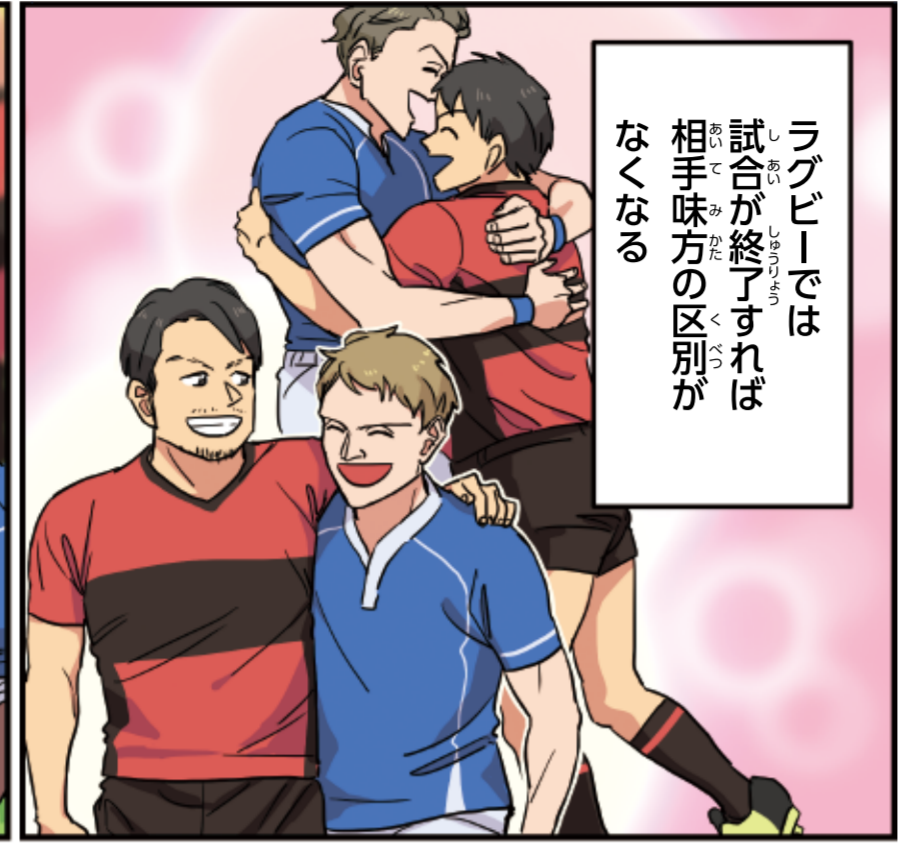
### 目標に向かって努力

ラグビーは激しい接触のあるス  
ポーツですが、「プレーでは反則  
をしないことを心掛けている。反  
則をするとチームにも迷惑がかか  
る」とフェアプレーを実践してい  
る堀江選手。みなさんに向けて  
「小さなことでもいい。目標を立  
て、楽しみながら達成して、その  
喜びを感じてほしい。たとえ挫折  
したとしても、また違う目標を立  
てればいい」と、目標に向かって  
努力する大切さを力強く伝えてく  
れました。



# ラグビーのノーサイド精神

ラグビーでは  
試合が終了すれば  
相手味方の区別が  
なくなる



ラグビーは  
激しい接触プレーが  
多いスポーツだ



相手に  
全力でタックルを  
したり

スクラムを  
組んだり  
本気で  
ぶつかり合う



しかし  
試合終了後  
には

自分のチーム  
だけでなく  
相手チームや  
試合に関わった人  
全員で

お互いの健闘を  
称え合う会を  
開くこともある



激しくぶつかり合った  
相手であつても  
互いに称え合い  
より深い仲間になることを  
大切にしている



このことを  
ラグビーでは  
「ノーサイド」と  
表現している

